

7
15

目指せ！ 将来のサッカー日本代表



シュートを放つFCあさひの選手

旭スポーツの森公園で、近隣市町のサッカークラブから29チームが参加して、第16回「あさひカップ」が行われました。市内からはFCあさひと飯岡FCが参戦し、熱い戦いを繰り広げていました。

7
15

未来への思いをつづったパネルが完成



メッセージをパネルに張る子どもたち

旭青年会議所によるイベント「きみとぼく旭の未来」が、いいおかユートピアセンターで行われました。市内の版画家土屋金司さんの作品「朱雀」に、市民

が旭市の未来への思いをつづり、共同で4枚のパネルを作り上げました。この日完成したパネルは、市に寄贈され、来年3月末までいいおかユートピアセンターに展示されます。

7
16

旭市の「再生」へ向けて



再生へ向けた討論

東日本大震災からの復興をテーマに、シンポジウムとコンサート「みんなで考えよう『旭市』の再生!!!」が、いいおかユートピアセンターで開かれました。討論会では、国や県による復興計画や津波対策の説明、市民団体によるまちづくりの提案などがあり、来場者は熱心に聞き入っていました。

7
24

未来の「なでしこ」が農作業に奮闘



養豚場での作業もこなします

ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-15の女子中学生20人が7月23日からの5日間、市内農家に宿泊しながら農業体験を行いました。子どもたちは「大変だけどいい経験」「優しくしてくれて本当のおじいちゃん、おばあちゃんみたい」などと話していました。

第8回旭市民音楽祭

さまざまなジャンルの音楽が観客を魅了

さまざまなジャンルの音楽が一堂に会する市民音楽祭が、8月5日に東総文化会館で開催され、約900人が訪れました。

大ホールでは、吹奏楽、ピアノやマンドリン、大正琴、草笛・指笛などの9団体が、それぞれ素晴らしい音色を披露し、客席からたくさんの拍手が送られていました。また小ホールでは雰囲気が一変、フォークやロック、ポップスの5団体が熱い演奏を繰り広げ、会場は大いに盛り上がっていました。



エンディングは出演者全員で熱唱(小ホール)

太田八坂神社のエンヤーホー(つく舞)

繁栄への祈り 地上16mでの妙技

豊作や子孫繁栄を祈って毎年行われている無言劇「エンヤーホー」が、今年も7月27日に宿天神区の太田八坂神社で奉納されました。



色とりどりの紙吹雪が夜空を舞った

エンヤーホーの掛け声の中行われるこの無言劇は、県の無形民俗文化財にも指定されていて、最後に披露される高さ16mにも及ぶ柱上での妙技は圧巻。この日も最後に獅子面を着けた演者が登場し、柱を登りながら妙技を披露、面に仕込んだ紙吹雪が舞うと、集まった見物客などから大きな拍手が湧き起こりました。

「勇気・元気・復興への道」をテーマに開催！

旭市七夕市民まつりが8月6日、7日の2日間にわたり中央商店街を中心に開催されました。

街を彩る色鮮やかな竹飾りが風にたなびく各通りを舞台に、みこしやお囃子、踊りなどのパレードが行われ、訪れた多くの人たちでにぎわいを見せていました。



②



③



①

- ①中央小音楽部によるパレード
- ②みこしの巡行に盛り上がる本部前
- ③息の合った踊りを披露

旭市子ども議会

子ども議員22人が議会を体験

旭市子ども議会が7月24日、市議会議場で開催されました。市内の各小中学校の代表22人が、子ども議員として議会を体験。はっきりとした口調で質問をする子どもたちの表情は真剣そのもの、公園の整備や環境の美化に関する質問のほか、津波予防対策といった震災に関連する質問などが投げ掛けられました。子ども議員たちは「緊張した」「原稿をあまり見ないで発表することができた」などと話していました。



はっきりとした口調の子ども議員